

宇奈月温泉・地鉄沿線地区 (二期)

(富山県黒部市)

- 計 画 期 間 平成 25 年度～平成 29 年度
- 面 積 968 h a
- 交付対象事業費 1,313.4 百万円
- 市人口 40,361 人

ポイント 宇奈月温泉街・富山地方鉄道を中心
軸とした観光と地域の交流活性化

地区概要 宇奈月温泉街・富山地方鉄道沿線の観光や
地域の魅力を高めるとともに、公共交通の活
性化と乗降客数の増加を目指す。

目 標 平成 27 年 3 月に開業を迎えた北陸新幹線の開業効果を取り込みながら、宇奈月温泉街・富山地方鉄道沿
線の魅力を高め、観光客や電車乗降客数の増加を図る。

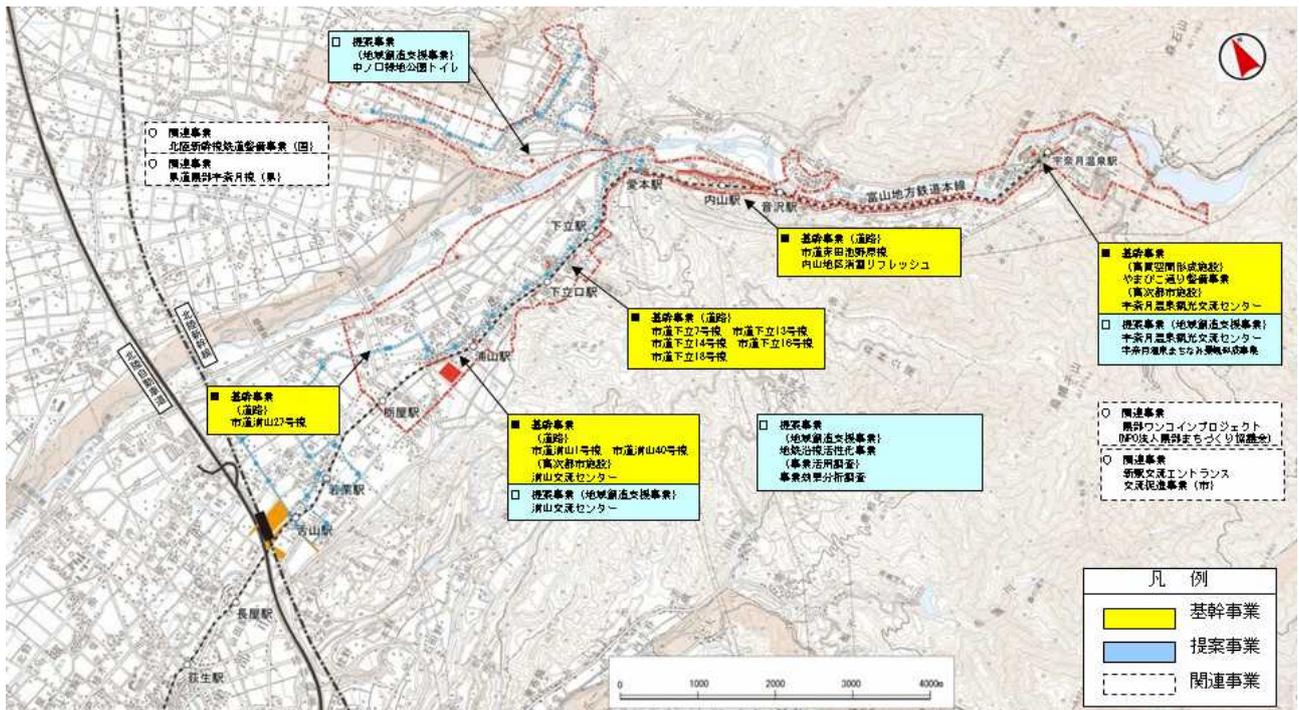
- ・ 観光開発などによる宇奈月温泉街への来訪者数の増加
- ・ 各種事業の実施による魅力ある地域づくり
- ・ 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅と地鉄新黒部駅の連携による、地鉄乗降客数の増加

指 標 交流拠点整備と公共交通
活性化により、温泉街施設
や地鉄の利用者、イベント
への参加者数の増加を目標
とした。

温泉街の施設利用者数	506,343 人/年 (H23) → 594,110 人/年 (H29)
イベントへの参加人数	25,047 人/年 (H23) → 43,678 人/年 (H29)
地区内地鉄駅乗降客数	554,856 人/年 (H23) → 701,074 人/年 (H29)

事業内容 基幹事業 (862.7 百万円) → 道路 (10 路線)、やまびこ通り整備事業
地域交流センター、観光交流センター

提案事業 (450.7 百万円) → 宇奈月温泉観光交流センター、浦山交流センター、中ノ口緑地公園ト
イレ、地鉄沿線活性化事業、宇奈月温泉街まちなみ景観形成事業



地区の現況と課題

この地区は、江戸時代加賀藩主の参勤交代路であった「上街道」が通り、宿場町等として街道沿いに集落が形成されてきた。大正末期に黒部奥山の電源開発を目的として鉄道が敷設され、終点到宇奈月温泉が開湯し、黒部峡谷鉄道の開業も相まって発展してきた。

近年、黒部峡谷の探勝に訪れる観光客の「駆け足観光」の増加に伴い、温泉旅館の宿泊者数の減少が見られ、一方、観光客や地元住民の足である富山地方鉄道においても、自動車の普及等に伴い乗降客減少の一途をたどっており、地区全体が弱体化している。

平成 26 年度には隣接する「北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅周辺地区」に黒部宇奈月温泉駅が開業を迎えたことから、開業効果も取り込むことにより地区活性化に取り組む。



▲ 宇奈月温泉街

提案事業の特徴

宇奈月温泉観光交流センター

宇奈月温泉街において、観光案内や温浴施設等を整備し、観光地としての魅力アップ及び住民と観光客の交流を図った。

宇奈月温泉街まちなみ景観形成事業

県内屈指の温泉観光地であり、秘境黒部峡谷の玄関口でもある宇奈月温泉街の各通りを宇奈月らしい個性と魅力あるまちなみ景観となるように整備を行った。

地鉄沿線活性化事業

観光客の誘導や鉄道駅乗降客数の増加を図るため、富山地方鉄道沿線の歴史・文化を紹介するシンポジウムやツアーの開催・マップ作成などに取り組んだ。



▲ 宇奈月温泉街まちなみ景観形成事業

計画策定プロセス

NPO法人黒部まちづくり協議会

「黒部ワンコインプロジェクト」実行委員会

NPO法人黒部まちづくり協議会の活動組織の1つである「黒部ワンコインプロジェクト」実行委員会において、市内公共交通の利用促進のため、鉄道は市民の重要な足であるという「マイルール」意識の醸成について協議を行っている。

宇奈月温泉・地鉄沿線地区都市再生整備計画事後評価委員会

平成 20 年度～平成 24 年度に実施した第 1 期計画の事後評価を行い、今後必要とされる事業や新たなまちづくりの目標や課題等の整理を行った。



▲ 地鉄沿線活性化事業
「浦山のナガ」の展示



▲ 黒部ワンコインプロジェクト